

自分らしく生きる

夢や希望をもって、自分らしく生きる事はとても大切な事です。この世界には、自分と同じ人なんていません。中には、頭も良くて、運動も上手なすごい人がいます。しかし、自分もその人と同じようにはならなくて良いのです。全てが完璧でなくても、相手を思う気持ちがあれば、素晴らしい事なのです。世界に通用するのは、言葉より「心」です。話す事が得意なよりも、聞く事が得意な方が大事です。興味をもって聞く事が出来るのは、一つの才能なのです。そして、いろんな人と上手に付き合えるのも大事です。この事を「コミュニケーション」が上手だ、と、夢や希望につながります。



6-1 さわやかで優しく、
にげずあきらめない

心に残った事は、「どういう人になりたいか」とい
う目標を亡べれたら地位を得ても失敗する
という事と、外国で日本の評判が高いのは、
身の回りで働く人がきちりしているから
という事と、勉強は自分のためでもあるけど、
自分を知るためだという事が心に残った。
生かしていききたい事は、「外国に行くことで
自分らしさ、自分が分かる」とおし^がていたように
一度外国に行ってみて自分を見つけたいのと、
「どういう人になりたいか」という目標を持って、
社会に出てもさわやかで優しく、にげず
あきらめない気持ちを持って生きて



いきたいです。

「トシも大事」

「爽やかで逃げず諦めない」

私はこの言葉が刺さりました。これから、この言葉を胸に、世界でも通用するバをつくる「トシ」をしたいです。身の回りに、友達も先生も家族もいます。毎日、誰かの優しさを見つけて、心を一歩ずつでも成長させたいと思います。また、中村哲さんの様に、誰かを幸せにしたいです。はじめは批反が多くても、積み重ねていけば、誰かは絶対幸せになります。今日教わったことを忘れず、中学生になっても、大人になっても、ズのために精一杯で、きる心を磨き続けたいと思います。そして、いつか、人のために精一杯やっている人になりたいと思います。



世界に通用する心

英語を学ぶのは大事、忘れないのも大事。でも

心は絶対忘れてはいけない。何になるかと同時に、どんな人になるか、**爽やかに優しく、逃げず諦めない**。この二つを忘れたら

どんなに頭が良くても失敗する。人間として、だれかが困っている

時、思いやりを持って助けることができるのは大切。思いやりの心は

どんな人にもどこかにある。その思いやりの心をさらに大きく育てる

には、「心トレ」がある。食べ物を食べて、トレーニングして、心トレができる

ように、心トレは、笑顔と優しさが栄養だ。そして、一日一回でも、だれかに

笑顔と優しさを広げれば、心は育つ。私達の「希望の心」は「かき心」という

かっている。世界のみなと分かり合うには、言語が必要だ。でも、それ

以上に心は大切だ。そして、色々な人と関わりをもつ、**違いを**

認め、同じを大切にする。自分は自分にはしか変えられない。だ

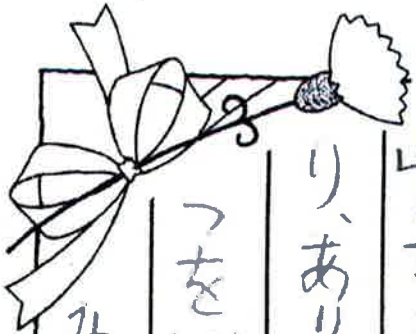
からこそ、自分のためにできることをして、心を育てる。その心

を、たくさんの人に広げる。心は人間にとって一番大切な財産だ。



笑顔と優しさは
心を成長させる

「笑顔とやさしさは世界で通じる」という言葉聞いて本当にそうだなと感じました。どんなに頭が良かったり運動ができていても泣いている人にかけて大丈夫の話かける優しさがなければ心は成長しないということも考えさせられました。湯澤さんはこれからも自分らしさを大切にしている。こう、あいさつを大切にしていることが希望をもてるお話をたくさんいただきました。湯澤さんがおっしゃっていた「せわやかで優しく逃さないあきらめな人になるために良い人を見つけてまねたり、ありがとう、ごめんなさいなどのあいさつを心がけていこうと思います。また、みんなに笑顔と優しさをあげられるような人になりたいです。」



勉強の大切さ

心に残ったことは勉強をする意味です。自分のために勉強をして自分をよく知るため。そうすると自然に宇宙を知るということが心に響きました。また中村哲さんか用水路をひくために勉強をしたという話から勉強は世界も守れるかもしれないと思いました。

私はこれまで勉強はいやだったけれど、今日の話で勉強をたくさんしてたくさん自分や自然、宇宙のことを知ろうと思えました。また頭が良い人は必ず成功するわけではないという言葉から頭の良さだけではなく才能、技術も大事と改めて思うきっかけにもなりました。

今日、四十五分間のお話でいろいろなことが学べてとても良かったです。

